アクティブサスコントローラー
ランドクルーザー URJ202W(H21.5~H23.12) 取付説明書

⚠取り付け時の注意

- ●本体および配線類はハンドル、シフトレバー、ペダル、パーキングブレーキの操作を妨げるような取り付けをしないでください。運転の邪魔になるばかりでなく事故の恐れがあります。
- ●本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。
- ●取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。
- ●コネクターを引き抜くときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張りますと、コンピューターが破損する恐れがあります。
- ●配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- ●コネクターを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- ●本製品を取り付ける際は、ハーネス、ユニット、配線等がシートレールやペダル等に噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- ●本体を直射日光の当たる場所やエアコン吹き出し口付近の温度が極端に変化する場所、熱のこもる場所には取り付けないでください。変色、変形、故障の恐れがあります。

■取付手順（はじめにお読み下さい）

① G-セキュリティを設定している場合は、作業開始前にG-セキュリティを解除してください。解除方法については車両の取扱説明書または車両の販売店にてご確認ください。また、HDDナビゲーションはIG-OFF後も6分間動作していますので、バッテリーマイナス端子を外す際はIG-OFF後6分以上経過してからおこなってください。

② 「専用ハーネス接続方法」を参照の上、アクティブサスコンピューターを探します。

③ 基本取付図のようにアクティブサスコンピューター、車種別専用ハーネス、車両側ハーネス、コントローラー本体を接続します。

④ 接続を再度確認してバッテリーマイナス端子を接続します。

⑤ 取扱説明書及び下記説明を参照の上、本製品の初期設定をおこないます。

⑥ エンジンを始動して、コントローラーの取扱説明書どおりに動作（車高設定など）することを確認します。

⑦ 正常にコントローラーが動作しない、車両のインジケーター（警告灯）が点滅するなどの症状が発生した場合、再度、接続箇所・コントローラーの車種設定を確認します。インジケーターが点滅している場合、バッテリーマイナス端子を6分以上外して記憶を消去してください。

⑧ コントローラーの正常動作を確認したら、コントローラーを適切な場所に設置し、パネルやシートなど内装部品を元通りに戻して取付終了です。

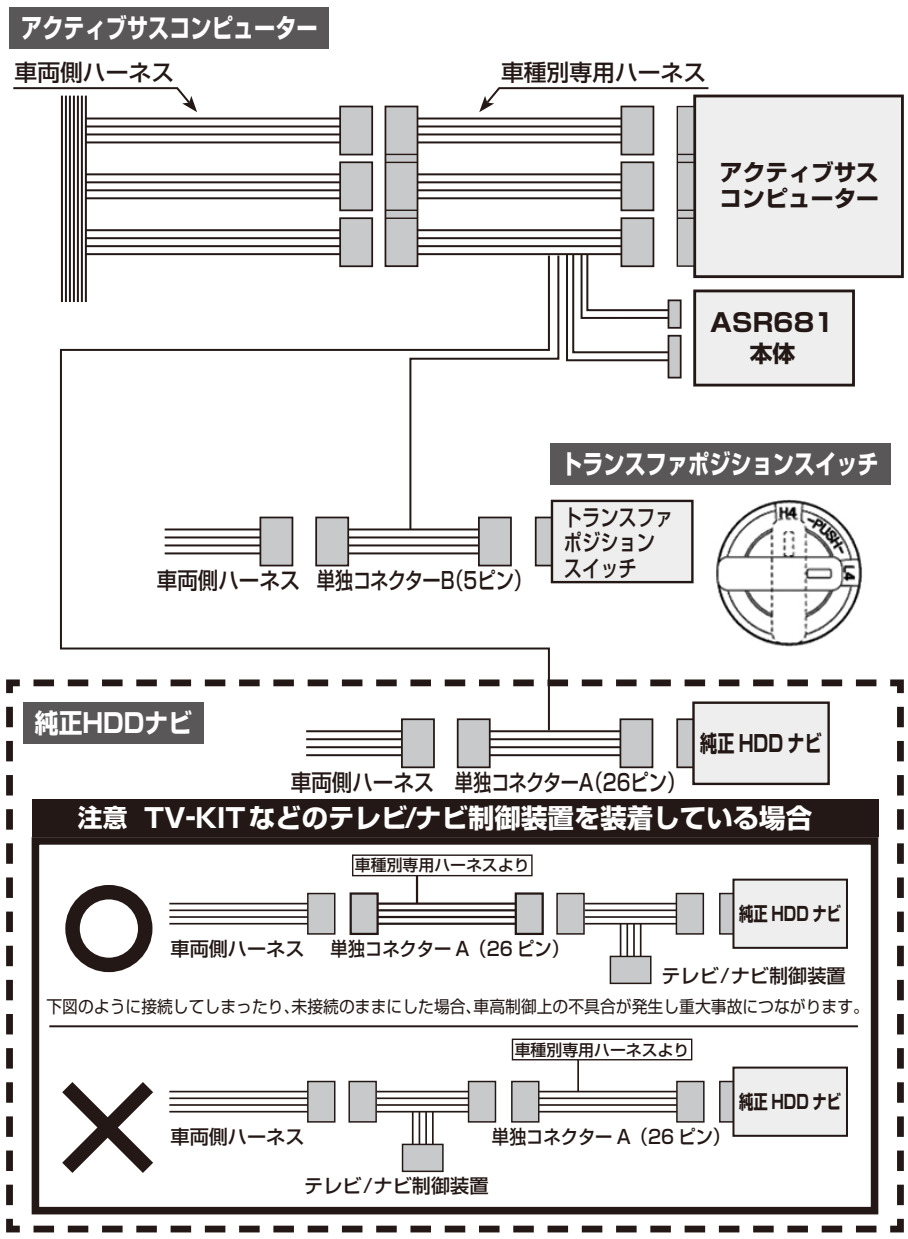
Data System 株式会社 データシステム

■［ 本 社 ］東京都新宿区新宿 1-18-2　TEL.03-5369-4137（代）
■［倉敷支社］岡山県倉敷市神田 1-1-11　TEL.086-445-1617（代）

自動音声案内に従って下記の#（シャープ）と番号を押してください。
#1 適合確認　#2 サービス（技術的なお問い合わせ・修理受付）　#3 在庫確認・ご注文
（※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください）

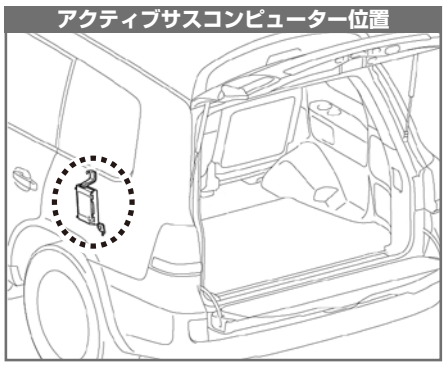
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製（コピー）・転用・転載を禁じます。

■基本取付図



■専用ハーネス接続方法

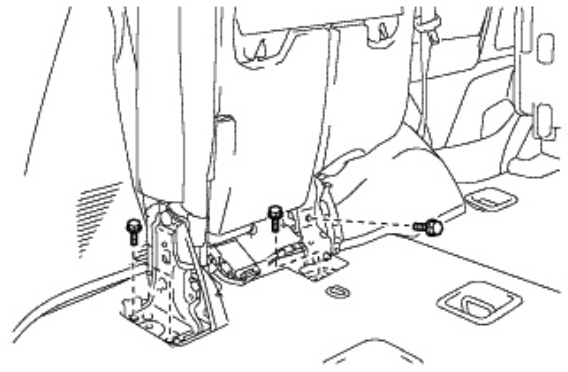
アクティブサスコンピューター位置



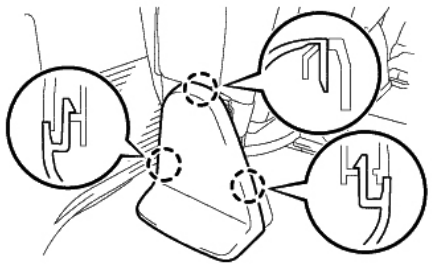
アクティブサスコンピューター

❶助手席側サードシート取り外し

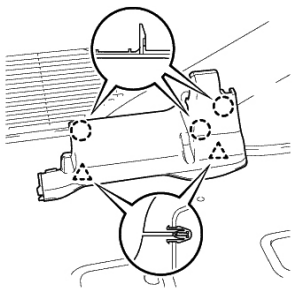
シートを格納する



ボルト 4 本を取り外す

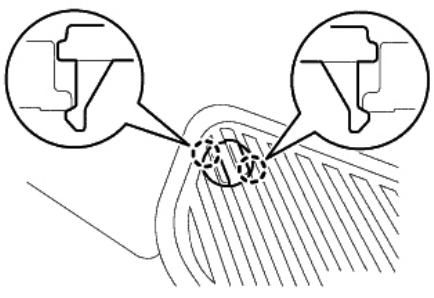


ヒンジカバーを取り外す

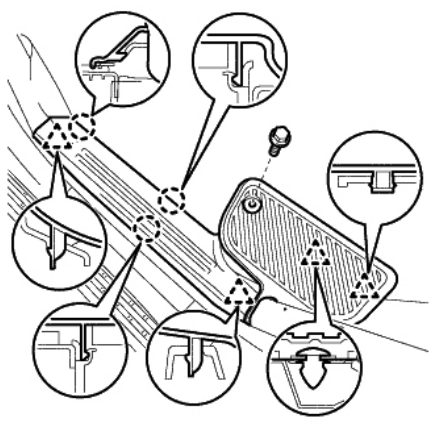


ヒンジカバー No.2 を取り外す

❷リアスカッフプレート取り外し

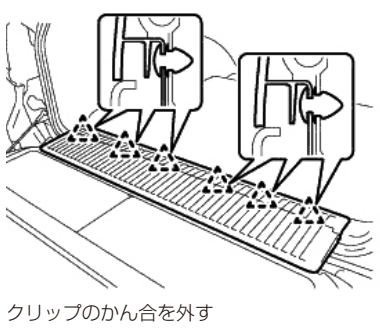


ステップカバーを取り外す

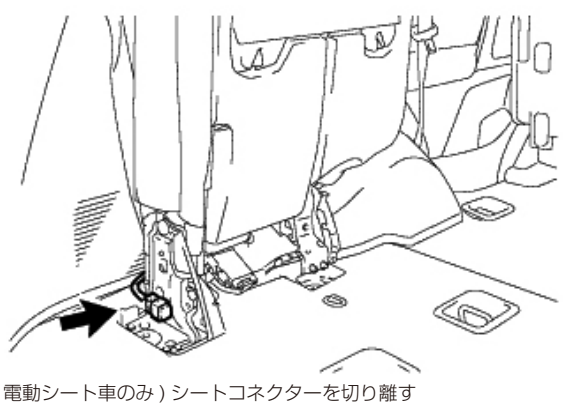


スクリューを取り外す
ツメのかん合とクリップを外す

❸リアサポートプレート取り外し



クリップのかん合を外す

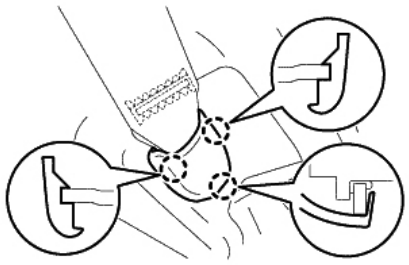


（電動シート車のみ）シートコネクターを切り離す

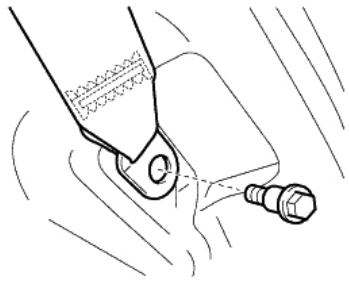
裏面へ

専用ハーネス接続方法つづき

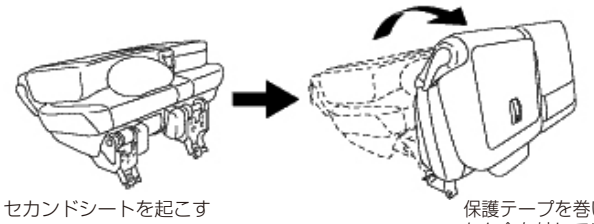
❹クォータートリムパネル取り外し



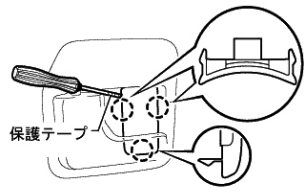
ツメのかん合を外してラップベルトアウターアンカーカバー No.1 を取り外す



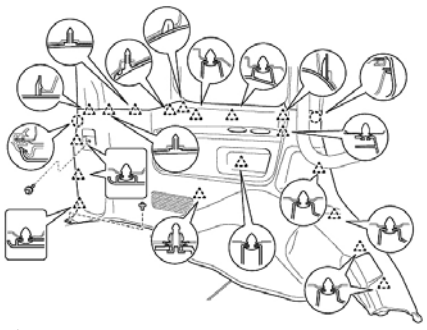
ボルトを外してリアシートベルト No.1 のフロアアンカ部を切り離す



セカンドシートを起こす

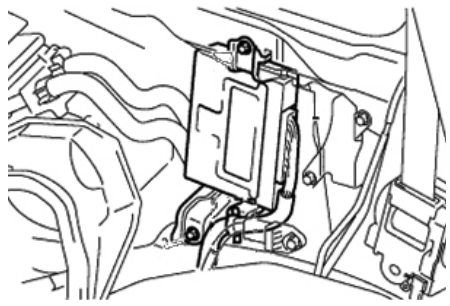


保護テープを巻いたマイナス薄刃ドライバーでツメのかん合を外してリアシートカバーキャップを取り外す



ボルト 1 本とクリップ 1 個を取り外す
クリップとツメのかん合を外す

❺専用ハーネス接続（単独コネクターA / Bを除く）



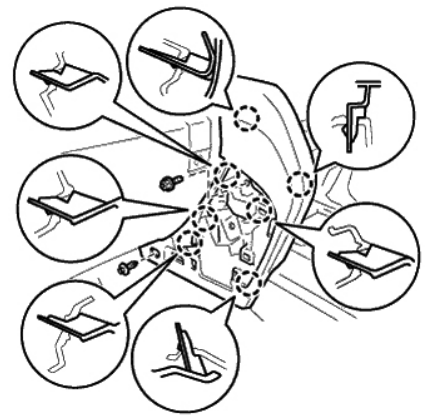
基本取付図を参考に、エアサスコンピューターと車両側ハーネスとの間に専用ハーネス（単独コネクターA / Bを除く）を割り込ませる

トランスファポジションスイッチ

❻パネルクッション L 取り外し

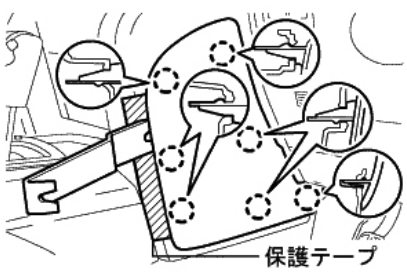
斜線の位置に保護テープを貼り、リムーバーを使用してツメのかん合を外す

❼パネルパッド L 取り外し



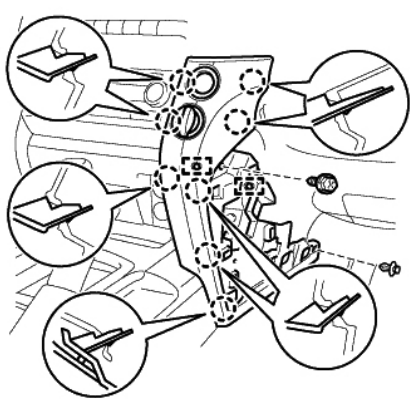
クリップとスクリューを取り外す
ツメのかん合を外す

❽パネルクッション R 取り外し



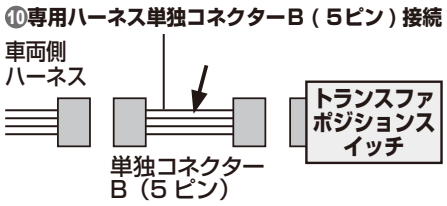
斜線の位置に保護テープを貼り、リムーバーを使用してツメのかん合を外す

❾パネルパッド R 取り外し



クリップとスクリューを取り外す
ツメのかん合を外して各コネクター類を切り離す

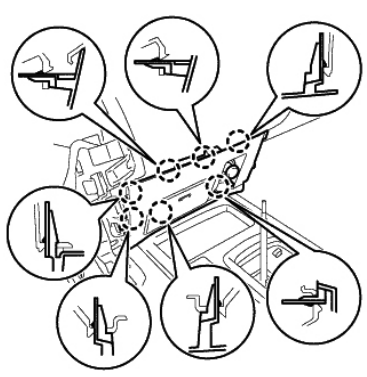
❿専用ハーネス単独コネクターB（5ピン）接続



トランスファポジションスイッチ裏側コネクターに、単独コネクターB（5ピン）を割り込ませる

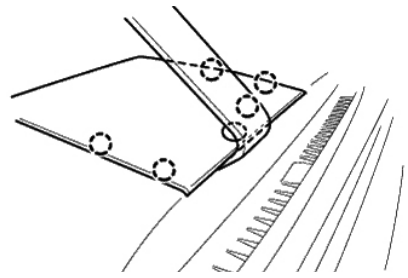
純正HDDナビ

⓫フィニッシュパネル取り外し

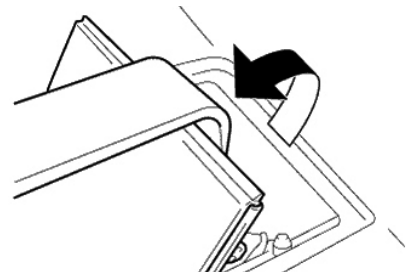


ツメのかん合を外して各コネクターを切り離す

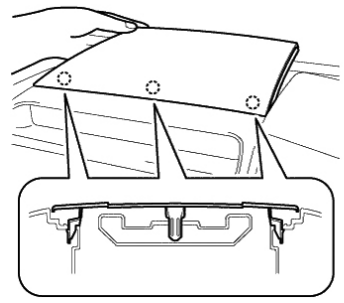
⓬スピーカーカバー取り外し



リムーバーを車両前方側に差し込む

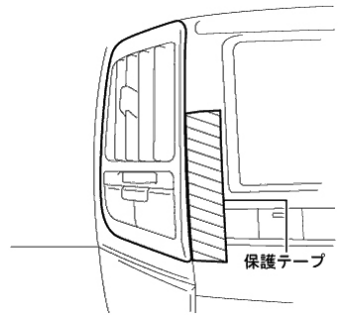


リムーバーを手前に引き上げてツメのかん合を外す

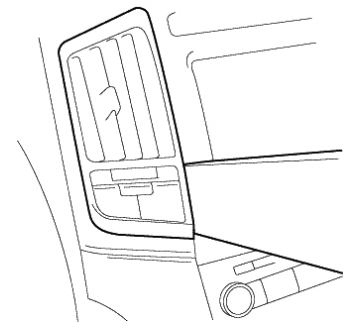


車両後方側のツメのかん合を外してコネクターを切り離す

⓭エアコン吹き出し口 L 取り外し



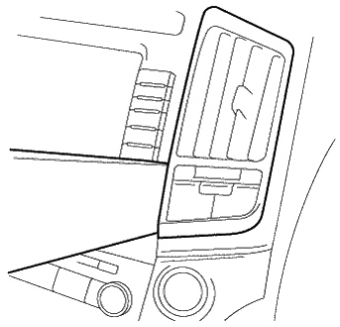
斜線の位置に保護テープを貼る



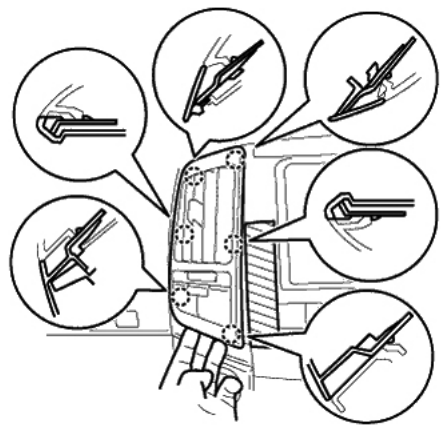
リムーバーを使用して浮かせる

⓮エアコン吹き出し口 R 取り外し

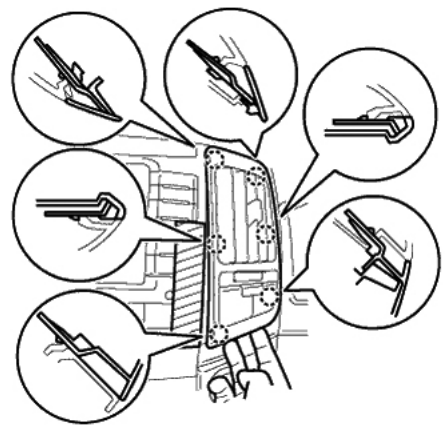
斜線の位置に保護テープを貼る



リムーバーを使用して浮かせる

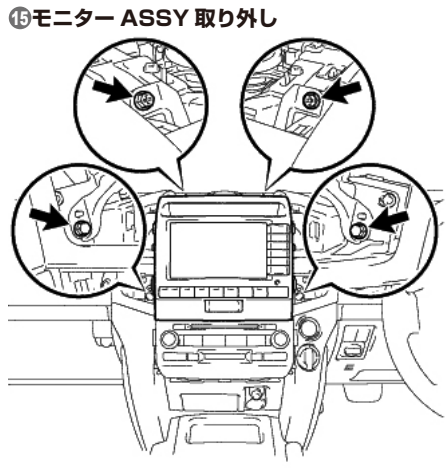


ツメのかん合を外して各コネクターを切り離す

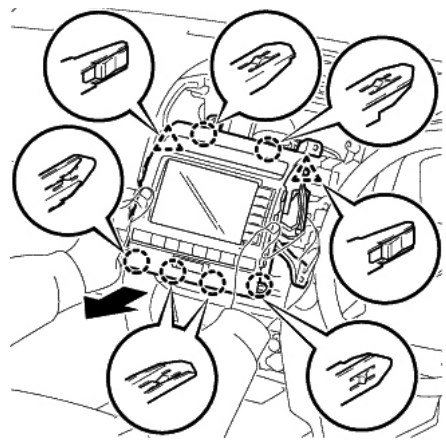


ツメのかん合を外して各コネクターを切り離す

⓯モニター ASSY 取り外し



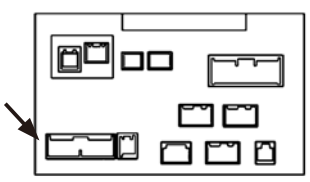
ボルト 2 本とスクリュー 2 本を取り外す



クリップ及びツメのかん合を外す
各コネクターを切り離す

⓰専用ハーネス単独コネクターA（26ピン）接続

⚠ 基本取付図の注意事項を必ずお読みください。



矢印の位置に単独コネクターA（26ピン）を割り込ませる

アクティブサスコントローラー
ランドクルーザー URJ202W(H21.5~) 補足説明書

⚠ 製品をご使用になる前に必ず「ASR681取扱説明書」および「本補足説明書」をよくお読みください

Data System 株式会社 データシステム

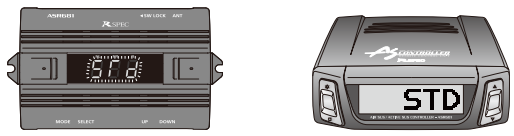
■[本 社] 東京都新宿区新宿 1-18-2　TEL.03-5369-4137 (代)
■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田 1-1-11　TEL.086-445-1617 (代)

自動音声案内に従って下記の#(シャープ)と番号を押してください。
#1 適合確認　#2 サービス (技術的なお問い合わせ・修理受付)　#3 在庫確認・ご注文
(※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)

弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

■ 初期設定

●初期設定について



⚠重要 本製品装着後、初期設定(本体及びリモートコントロールユニットの保安基準設定)を必ずおこなってください。初期設定方法については取扱説明書11～12ページ、15～16ページをご参照ください。尚、本製品はランドクーザー200専用品ですので車種設定はおこないません。

■ 本体およびコントロールユニットのリセットについて

⚠ 詳しい操作手順はASR681取扱説明書29～30ページを参照してください。

●本体のリセット　リセット後、ASR681 取扱説明書 12 ページの状態に移行します。

●コントロールユニットのリセット

リセット後、必要に応じてASR681 取扱説明書 15～16 ページをご参照の上、保安機運設定をおこなってください。

■ コントロールユニットと本体との通信について

⚠重要 コントロールユニットと本体とが通信した際、保安基準設定／保安基準解除設定を含めた本体内全ての設定値をコントロールユニット内の設定値に更新しますので、本体で設定した値よりもコントロールユニットで設定した値のほうが優先されます。

■ 車高設定段階について

車高設定値	保安基準解除設定
F	HIGH
E	
D	
C	
B	
A	
0	NORMAL
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
L	LOW

高くなる ↑ / ↓ 低くなる

車高設定値	保安基準設定
B	HIGH
A	
0	NORMAL
1	
2	
3	
4	
5	LOW

高くなる ↑ / ↓ 低くなる

■ 使用上の注意

●駐車中の車高について

本製品で車高を上げた状態でイグニッションスイッチをOFFにすると、車両の状態によりノーマル車高に戻る場合があります。これは車両側車高制御上の正常な動作であり、故障ではありませんので予めご了承ください。本製品で下げた車高はイグニッションスイッチをOFFにしても維持されます。

本製品での車高UP

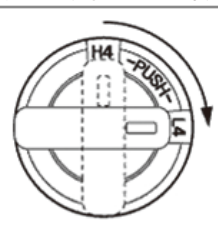
本製品での車高DOWN

● L4 切り替え時の制御について

本製品にて車高を変化させている状態でトランスファポジションスイッチを「L4」に切り替えると、「L4」選択中は本製品での車高制御を一時的に中断してノーマル制御に戻します。この動作中は本体表示が「no」の点滅表示になります。

※L4+速度3km/h以上で車両側が自動的に車高を約50mm上げるため、本製品の車高制御と重複する事によるトラブルを防ぐための処理です。

トランスファポジションスイッチ



●車高変更の動作について

いずれかのドアを開けていると車高は変化しません。車高を変更する際は、必ず全てのドアを閉じてからおこなってください。

●車高メモリー切り替え時の動作について

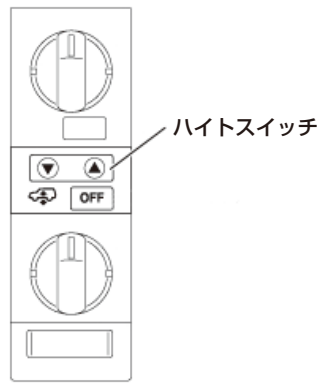
車高メモリーを切り替える(NORMAL←→H1←→H2)と車両側ハイトコントロールインジケーターの表示がN→HI→Nと変化しますが、これは本製品の制御上の動作で故障や異常ではありません。

●ハイトスイッチとの併用不可

「NORMAL」以外の車高メモリー (H1 またはH2) 選択中は、車高設定値に関係なくハイトスイッチ操作 (HI側・LO側共) をおこなうと、本体に下図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

「NORMAL」選択中は車両側ハイトスイッチが使用できます。

車両側ハイトスイッチ



本体警告画面表示

●高速走行時の制御について

純正の機能により高速走行 (速度 110km/h以上) 時に約20mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください (車高メモリーについては取扱説明書 18ページを参照してください)。

「NORMAL」以外の車高メモリー (H1 またはH2) を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度 100km/h 以上で車高を約20mm上昇させます※。また、この制御は速度70km/h以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。但し、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。

※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。